

# 県政活動報告

発行者/皆川いわお  
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2  
TEL 055-222-5313  
FAX 055-233-3301  
E-mail: minagawa@nns.ne.jp  
<http://www.nns.ne.jp/pri/minagawa/>  
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

## 甲府城周辺整備、魅力ある空間に

# 9月定例県議会で皆川いわお県議

### 女性の活躍支援、全国レベルに

九月定例県議会で皆川いわお県議は、今後の財政運営についてただした後、女性の活躍支援、ひきこもり支援対策について具体策を求めた。また、甲府城周辺地域の整備については、県民会館の跡地を有効活用し、魅力ある空間づくりをと提案し、さらに、屋内五〇メートルプールの整備については、早急に対応すべきだとせまった。

#### これからの財政運営 どのように取り組む

#### 皆川いわお県議の質問

今後の財政運営についてだが、「リニア環境未来都市の創造」や、「先進的な高度医療の導入」など、主要なプロジェクトを実現するために、どのような財政運営に取り組んでいくのか。

#### 知事答弁

県税収入の増加を図るため、県内経済の活性化に取り組みたい。基幹産業の発展・集積を図るとともに、農業や環境をはじめとする

産業間の連携により、地域資源を活用しながら、産業の振興を図っていく。さらに、国の補助制度を取り込み、事業を進める。

歳出面においては、行財政改革を進め、行政サービスの向上とコスト削減を図りたい。

#### 女性の活躍支援 県・企業の促進策を

#### 皆川いわお県議の質問

内閣府の「女性の参画マップ」によると、本県の管理職に占める女性の割合は13.25%と全国34位で

あり、県内事業所において女性の登用が進んでいない。企業の取り組みが促進されるよう、県の支援が必要だ。

#### 知事答弁

女性の活躍を進めるため、中小企業の自主的な取り組みを働きかけたい。本年度から、女性職員を対象にしたスキルアップ研修を行ない、あわせて、女性の活躍支援事業をスタートさせた。

#### ひきこもり支援制度 サポーターの養成も

#### 皆川いわお県議の質問

ひきこもりの子をもつ親、家族の会であるNPO法人KHJ香川県オリープの会では、当事者やその親、家族が、必要とする支援を行政とともに協働して行なっている。本県では、このような団体とどのような形で連携、協働していくのか。

ひきこもりが長期化し、本人も歳を重ね、親も高齢化で、支援の継続が困難になった場合、行政はどのような支援を行なうのか。ひきこもりの経験者などをサポーターとして養成する制度も有効だ。

#### 知事答弁

ひきこもり支援検討会議で基本的な方針がまとまったことから、専門相談窓口を開設したい。親や家族の会との連携、協働のあり方については協議している。ひきこもりサポーターについては、

他県状況なども踏まえ、養成を検討していく。

#### 屋内五〇メートルプール 整備検討を

#### 皆川いわお県議の質問

新しい県政運営の指針として策定された「総合計画の素案」では、「大規模なスポーツ大会やオリンピックの事前合宿の誘致」等に取り組むとしている。屋内五〇メートルプールは、国際大会や全国規模の水泳大会を誘致するためには欠かせない。

屋内五〇メートルプールの整備について、県はどのように考えているのか。

#### 教育委員会委員長答弁

屋内五〇メートルプールは、競技力の向上と県民の生涯スポーツの振興を推進するために重要な施設だが、多額の事業費や維持管理費が必要だ。現在、県有スポーツ施設の整備を計画的に実施するための基本方針について策定を進めているが、そのなかで検討していきたい。

#### 皆川いわお県議の再質問

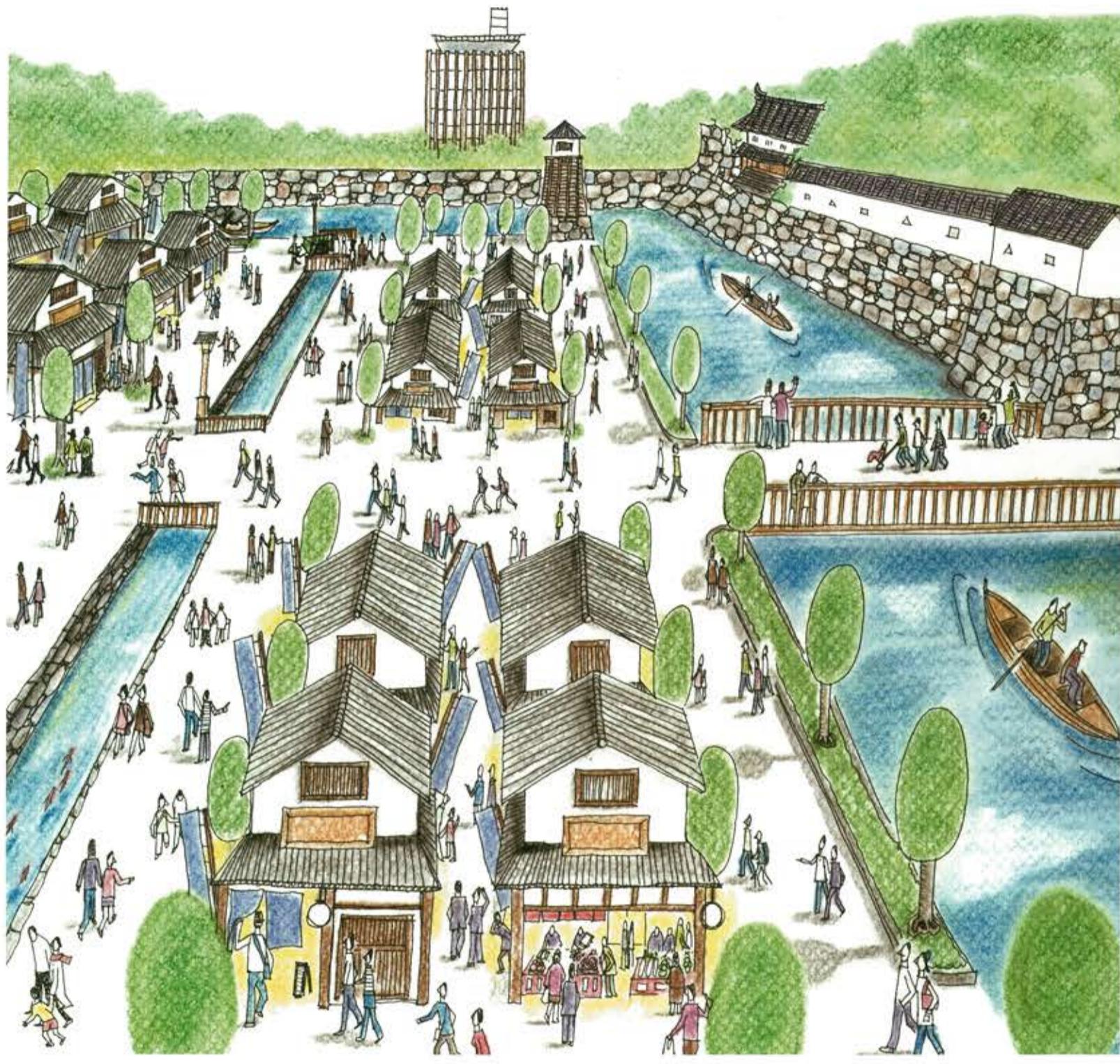
五年後にオリンピックを控え、また、二巡目の国体も近い。こうしたなかで、現在のプールは耐用年数が過ぎ、建物はいたみ、子どもたちの事故がいつ起こっても不思議ではないような危険な状況だ。



建て直さなければならぬ時期は近づいている。屋根をかけた屋内プールを早急につくるといふ考えがあつてもいいのではないかと、**教育委員会委員長答弁**  
ご提案いただいた方法も含め、屋内五〇メートルプールのあり方を検討させていただきます。

ご提案いただいた方法も含め、屋内五〇メートルプールのあり方を検討させていただきます。

# 甲府城の周辺整備で、魅力ある観光拠点を お堀の復元で「水辺のある城下町」



皆川いわお県議が提唱し、取り組んできた「お城フロント構想」。甲府城を観光資源として活用したまちづくりであり、歩いて楽しいまちづくりであり、交流人口の増加策だ。  
昨年10月には、経済団体などで行く「天守閣など甲府城復元・整備推進会議」が10万人をこえる署名を提出。2月に就任した後藤知事も「県民の声を十分に踏まえ、積極的に対応する」と公約に盛り込んだ。

### 甲府城周辺地域 魅力ある空間整備を

#### 皆川いわお県議の質問

甲府城周辺地域は、中心市街地における集客の核となる地域であり、魅力ある空間づくりが課題だ。このエリアでは県民会館の撤去等が予定されており、跡地を有効活用した整備方針を、早急に策定する必要がある。

県民会館等の跡地利用を含めた甲府城周辺地域の整備について、今後どのような取り組みを進めていくのか。

#### 知事答弁

甲府市中心市街地活性化基本計画には、商店街活力再生支援事業や甲府駅南口周辺地域景観整備事業などが、中心市街地の活性化に資する県事業として位置づけられており、県としても甲府市や甲府商工会議所などと連携を図りながら、これらの事業を推進していく。

### 甲府城の復元整備 新たに総合調査事業

#### 皆川いわお県議の質問

本年六月議会において、甲府城天守閣等の歴史的資料の総合調査事業を承認し、すでに調査に着手している。知事も浅野文庫等に自ら出向く意向と聞いている。今回の調査の目的と、具体的な調査内容について、現在の進捗状況を含めて伺いたい。

#### 教育委員会委員長答弁

甲府城の復元整備は、歴史的根拠、史実に基づいて、整備を進めてきた。しかし、天守閣の存在を示す文献や絵図などは未確認であることから、歴史資料の調査をさらに強化

し、整備に向けた総合調査事業を新たに立ち上げた。また、外部有識者による甲府城跡総合調査検討委員会を設置し、体制を整えた。本年度末までに調査内容をまとめ、甲府城跡の復元整備に向けた方針を決定したい。

### 県外調査 農政産業観光委員会

産業の先進事例や  
地域産業活性化事例を視察

農政産業観光委員会は、九月一日から三日間にわたって熊本、佐賀、福岡を県外調査した。6次産業の先進事例や、企業誘致・工業団地のあり方、産学官地域連携の研究、地域産業活性化に向けた取り組みなどについて視察し、関係機関の担当者との意見交換した。

### 6次産業について意見交換する皆川いわお県議



熊本県の先進事例を視察する議員。生産から加工・流通までを地域で行ない、活性化している

